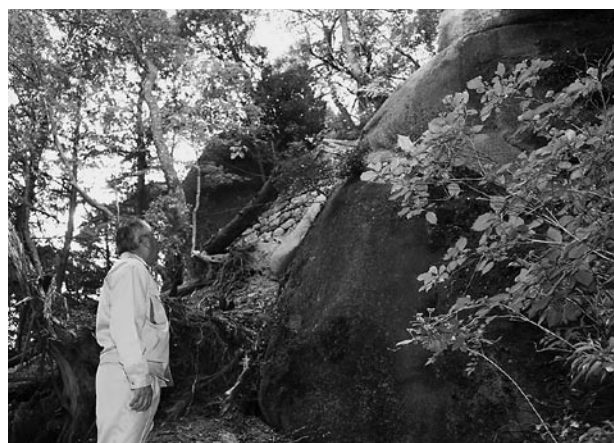


岩尾山の災害現場を視察

平成16年10月に被災した岩尾山の山頂付近の災害現場を視察しました。

山頂の大岩には、市の指定文化財である磨崖地藏菩薩坐像・磨崖不動明立像があります。幸いにも文化財自身には大きな被害はありませんが、参道の危険な状態は続いており、現在は立ち入り禁止となっています。



▲岩尾山の災害現場を視察

現場主義で進める市政

要望が出されている箇所や危険箇所の現場を確認するのも市長ぐるっとトークです。



▲水路を歩き自らの目で現場を確認する中嶋市長

市の文化伝承に期待 民具友の会の皆さんと懇談

甲南ふれあいの館では、この施設を拠点に活動されている民具友の会の皆さんと懇談しました。

民具友の会の皆さんは、日頃から甲南ふれあいの館の運営をお手伝いいただいています。

懇談会では、伝統を後世へ伝え残していただく活動にたいへん感謝していること、皆さんの活動は市政への支援であり、皆さんの貴重な経験を市政にも生かしていきたいことをお話ししました。

参加いただいた皆さんからは、「ここは民具の資料館としては市内唯一の施設です。歴史を子どもたちに伝えるために頑張っています。」「昔の道具を知り、昔の生活を知ること子どもたちの心も豊かになる。」などの民具を中心に歴史を後世に残したいという熱い気持ちをお聞きました。その後、同館に展示されている民具を、皆さんの説明を受けながら見学しました。



▲甲南ふれあいの館で展示されている民具を見学



▲民具友の会の皆さん

伊賀市との境界を視察

本市と伊賀市は、県域を越えて消防団等を始めとする応援協定を締結するなどのつながりを深めています。

市内の一部地域では伊賀市からの給水も受けており、今後もあらゆる面での相互協力や市民交流を深めることとしています。当日は甲南地域で給水を受けている地域を訪れました。

市長



まちづくりは
皆さんとの対話から

ぐるっと

in 甲南

第8回

明日の農業に挑戦 「宮ベリー」の里を訪問

上野川営農組合で進められる転作田を利用したブルーベリー栽培の現場を訪問しました。

ここでは30アールの転作田を利用して550本の苗木が植栽用バッグに植えられています。

参加いただいた皆さんからは、収穫に向けての思いなど尽きることのない「宮ベリー」の里構想を聞かせていただきました。収穫したブルーベリーは生果出荷のほかジャムへの加工などの利用を考えておられます。来年7月頃の収穫時期を楽しみにしています。



▲ブルーベリーの栽培について説明を聞く
中嶋市長



▲新しい特産品づくりに挑む
上野川営農組合の皆さん